

飼料需給表

(単位：TDN千トン、%)

	需要量 A	供給量				自給率		
		粗飼料		濃厚飼料		純国内産 飼料自給率 (C+E)/A	純国内産 粗飼料 自給率 C/B	純国内産 濃厚飼料 自給率 E/D
		うち 国内供給 B	うち 国内供給 C	うち純国内 産原料 D	うち純国内 産原料 E			
昭和40	13,359	4,519	4,519	8,840	2,771	55	100	31
50	19,867	4,793	4,793	15,074	2,060	34	100	14
60	27,596	5,708	5,278	21,888	2,310	27	92	11
平成7	27,098	5,912	4,733	21,186	2,239	26	80	11
8	26,600	5,811	4,529	20,789	2,227	25	78	11
9	26,496	5,761	4,518	20,735	2,152	25	78	10
10	26,173	5,709	4,453	20,464	2,104	25	78	10
11	26,003	5,595	4,290	20,408	2,039	24	77	10
12	25,481	5,756	4,491	19,725	2,179	26	78	11
13	25,373	5,573	4,350	19,800	1,995	25	78	10
14	25,713	5,663	4,394	20,050	1,948	25	78	10
15	25,491	5,387	4,073	20,104	1,897	23	76	9
16	25,107	5,565	4,194	19,542	2,182	25	75	11
17	25,164	5,485	4,197	19,678	2,214	25	77	11
18	25,249	5,500	4,229	19,749	1,967	25	77	10
19(概算)	25,286	5,511	4,277	19,775	2,047	25	78	10

(資料)生産局畜産部畜産振興課

(注1)TDN(可消化養分総量)とは、エネルギー含量を示す単位であり、飼料の実量とは異なる。

(注2)濃厚飼料の「うち純国内産原料」とは、国内産に由来する濃厚飼料(国内産飼料用小麦・大麦等)であり、輸入食料原料から発生した副産物(輸入大豆から搾油した後発生する大豆油かす等)を除いたものである。

(注3)昭和59年度までの輸入は、すべて濃厚飼料とみなしている。